

致知

2007年11月号 目次
表紙の人・鈴木宣之氏・五嶋節さん

誌名の由来 これは中国の古典「大学」に出てくる有名な言葉である。
「致知」とは人間本来の英知を明らかにし、現代人に欠ける「知行合一」の精神をいう。

●特集●

「天真を發揮する」

●巻頭の言葉●
志立たざれば舵なき舟、
轡なき馬の如し

中條高徳

アサヒビル名誉顧問

●対談● 8

天を楽しみ、道をひらく

小柴昌俊

物理学者 & 遠山慶子

●インタビュー● 18

人の動きをよくすれば

会社はもつと伸びる

酒巻久

キャン電子社長

鑑真 その不惜身命の生き方に学ぶ

松浦俊海

律宗僧長・唐招提寺八十五世長老

天真は人によって見出される

—— 鈴溪義塾の教え ——

竹内宗治

鈴溪資料館館長

「インタビュー／天真を發揮する」

① 紹介営業一筋に

前人未到・千棟の住宅を販売

田中敏則

エリアリング代表

② 丁寧に生きれば、きつとどこかにつながる

佐々木志穂美

エッセイスト

③ 努力すれば、人生は必ず報われる

佐倉寛二郎

映画プロデューサー

いまここに生きる奇跡

中山万里

写真作家

●対談● 50

子どもの天分をどう伸ばすか

—— ナンバーワンでオンラインワンの子どもの育て方 ——

鈴木宣之

ピーティール社長 & 五嶋節

オンスGOTO代表取締役



佐々木志穂美

「疲れたり傷ついたりしたら、
「丁寧に生きれば、きつとどこかにつながる。
心を込めた仕事をすればきつと結果が出る」と
呪文のように心でつぶやくんです」(P.40)



小柴昌俊

「私はこれまで自分の好きなことだけをやってきたし、
やはり好きなことに無心に打ち込むことが人間がその人本来のよさ、
天真を發揮する上で、とても大切なことだと思います」(P.17)